

★柏崎体育

柏崎市体育協会広報紙

★・★・★・★・高く、強く、健やかに★・★・★・★・

柏崎市体育協会創立85周年記念

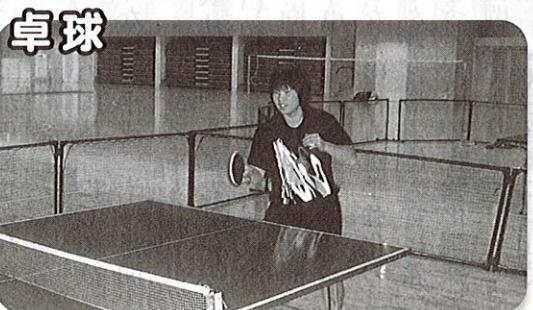
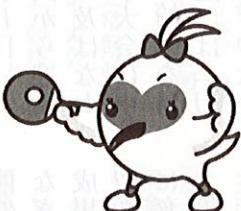
「市民スポーツ講演会」



財団法人 新潟県体育協会助成事業



成功させよう
トキめき新潟国体



ハンドボール



水球



卷頭言



柏崎市体育協会会長

高橋 保

平成十九年十一月十一日、柏崎市体育協会の八十五周年式典を行い、併せて震災復興元気支援「市民スポーツ講演会」を開催しました。中越沖地震被災地の「柏崎に活力を」との依頼に、一九八八年ソウルオリンピック金メダリストの「鈴木大地先生」は快諾、多忙のなか急遽来柏、「成せば成る」の体験談講演は感銘深く、国体前のジュニア育成に有意義な催しとなりました。

式典に先立ち「強い柏崎」の代表紹介、水球日本一になつた小学生の柏崎アカアクラブチームが誇らしげな顔で並び、常盤高校のなぎな女性美に溢れ、日本武士道の粹、居合道品田七段の剣さばきは特に至芸、スポーツ文化の風ふくまちを指

向する柏崎には心強く、また相応しいものでした。この八十五周年を機に「温故知新」の精神で先人の遺業を偲び、低迷している「体育のまち・強い柏崎」の復活、新体協の進展に努めなければ思いを一層強くしました。

柏崎体育の原点は陸上競技場からと史実が物語っています。坂田四郎吉先生の提唱で荒涼たる砂丘地を一大運動場に変えたのは柏崎人の意氣と情熱。完成したこの施設を管理運営し刈羽郡民の体位向上に資する「刈羽郡体育協会」の発足は崇高な信念の具現化で感動的、柏崎体育の象徴であるクラブチームが誇らしげなた克拉ブの演技はりりしく女性美に溢れ、日本武士道の粹、居合道品田七段の剣さばきは特に至芸、スポーツ文化の風ふくまちを指

日に至りました。

のでした。

この間、昭和五十一年、東京都東村山市とのスポーツ交流が今井・太田両氏の故郷談義の縁で始められ温かい友好親善の輪が広がった相応しいものでした。この八十五周年を機に「温故知新」の精神で先人の遺業を偲び、低迷している「体育のまち・強い柏崎」の復活、新体協の進展に努めなければ思いを一層強くしました。

昭和三十九年、新潟地震の発生は柏崎のエンマ市の最中でした。この年十月十日からアジア初の東京五輪開催のため、第十九回新潟国体は繰り上げられて春季大会、地元新潟勢の大活躍で開催県が初めて東京を敗り誇ります。その後

あれから四十数年、平成十九年七月十六日午前十時十三分、柏崎、刈羽地方は震度6強の地震に見舞われました。一瞬にして平穏な日常生活は崩壊、全壊家屋も千を超えて、優秀体育人、猪俣先生も奇禍に遭われて痛恨哀惜の極みであります。また、体育・スポーツ施設の損壊も甚大でプレ国体は中止、本国体の柏崎開催も危ぶまれるなかで、唯

一、小学生のアクア水球クラブの優勝は、長年のジュニア育成の成果で、被災地柏崎に全国から寄せられた温かい支援に応える快挙。再び「幻の国体」にして欲しくない。平成二十一年開催の「トキめき新潟国体」の成功を期すとともに、「強い柏崎」復活、「競技水準の向上」を目指し地元開催の卓球、ハンドボール、なぎなた競技も選手強化の成果を挙げて上位入賞に希望をつなげて日夜強化訓練に奮闘しております。

更にこれを契機に「市民生涯スポーツの振興」「地城スポーツの推進」、「総合

の代表紹介、水球日本一になつた小学生の柏崎アカアクラブチームが誇らしげな顔で並び、常盤高校のなぎな女性美に溢れ、日本武士道の粹、居合道品田七段の剣さばきは特に至芸、スポーツ文化の風ふくまちを指

監事	理事長	副理事長	顧問
小林	青木	佐藤	今井
琢也	正勝	啓雄	忠利
生涯	生涯	生涯	直紀
スポーツ	スポーツ	スポーツ	保
の振興	の振興	の振興	
総合	総合	総合	

柏崎市体育協会役員



て、その特性を生かし、柏崎体育の背骨でもある庶民体育（市民スポーツ）の母体として、住民により、住民のためのスポーツ活動を積極的に推進している。更に柏崎が誇るコミュニケーション活動の一環として、センターを拠点としたコミュニティースポーツの主宰者となり、スポーツを通して、健康で活力ある地域づくりに貢献している。

また、同時に誕生した青少年の健康体力増強、健全育成を目標とする「健民少年団」は、学校体育とは別に「健民体育」の一環として、地域活動を通して眞のスポーツ少年を育成してきた。その後、地域社会では、子どもたちの生활から遊びが消えると、育成会等によるスポーツ活動が盛んになり、健民少年団が自然消滅したことは残念である。（日本体育協会「スポーツ少年団」が同様の活動であり、柏崎では武道を中心活動している）近年、総合型地域スポーツクラブが提唱されているが、その趣旨は、柏崎体育の求め続けてきものであるだけに、柏崎方式として市民生活に密着したスポーツ文化として、再構築が期待される。

ち 柏崎

体育協会は、地区体協、体育指導員、子ども育成会等、市民スポーツ関係団体と連携し、それぞれの役割を自覚しながらも、深く関わりあいながら、市民一人ひとりの健康でより豊な生活を共通目標に、明るく活力ある地域づくりの貢献者とならなければならぬ。

一方、チャンピオンスポーツは、人間の限界への挑戦であり、その磨き抜かれた技に人びとは「感動」し、元気をもらい、勇気付けられる。とりわけ、ジュニア選手の活躍をもたらすことから、各競技団体が団結して、優秀競技者の育成に努めなければならぬ。

そして今、柏崎市体育協会は、市民の「感謝」と「元気」を伝える2009トキめき新潟国体の成功を期すとともに、國体がもたらす財産として、健康で明るいまちづくり「スポーツ文化の風ふくまち柏崎」を合言葉に、市民の皆さんとともに実現に向けて邁進するものである。

○「スポーツ文化の風ふくまち 柏崎」

柏崎市体育協会 85周年記念 兼 震災復興元気支援

「市民スポーツ講演会」開催!!

11月11日(日)に記念式典をかねて、市民の皆様を対象にした「スポーツ講演会」を実施した。

第1部のオープニングでは「つよい柏崎」の代表として水球日本ーになつた「柏崎アクアクラブ小学生チーム」の震災直後の練習や、今後に向けての力強い決意が表明された。インターハイ、国体に出場した常盤高校「なぎなた部」の「リズムなぎなた」の演舞があり、試合とは異なつた団体が団結して、優秀競技者の育成に努めなければならぬ。

第2部の「創立85周年記念式典」には馬場県体育協会会長、会田柏崎市長、中村市議会副議長、小林市教育長、田中参議院議員、東山県会議員、三

つた。

○楽しい水泳（スポーツ）を！樂な水泳（スポーツ）ではだめになる。指導者がアイデアを駆使しないと、○ほめる○おだてる○のせる○夢や希望を与える。○樂しい水泳（スポーツ）で



として今、柏崎市体育協会は、市民の「感謝」と「元気」を伝える2009トキめき新潟国体の成功を期すとともに、國体がもたらす財産として、健康で明るいまちづくり「スポーツ文化の風ふくまち柏崎」を合言葉に、市民の皆さんとともに実現に向けて邁進するものである。

演題は「ジュニア期における望ましいスポーツ環境」子どもの体力低下、塾で忙しい、めんどうだ、疲れるからスポーツをしない、等根本がおかしい。小学生にもプライドがある。あまり子どもあつかい



がら指導するべきなど。子どものスポーツ環境について多角的な視野からのお話があつた。

スポーツ活動が活発になることは、まちにおおきな活力を与えます。スポーツを通じて活性化してほしい。質疑でも具体的な話がだされ、形にはまらない会話的答でなごやかなムードで終わつた。

柏崎市体育協会創立85周年 記念「座談会」

「柏崎の体育・スポーツを語る」

柏崎市体育協会85周年を記念して、地震5日前の7月11日に各界を代表する方々から、柏崎の体育・スポーツについて語っていただいた。

☆ご出席いただいた方々

会田 洋 柏崎市長様

斎川正幸 新潟県柏崎地域振興局長様

内藤信寛 柏崎観光協会会長様

栗林淳子 柏崎市教育委員様

阿部尚義 柏崎市小中PTA連合会会長様

高橋 保 柏崎市体育協会会長

*進行 近藤康信 柏崎市体育協会事務局長(副会長兼務)



☆以下敬称は略

近藤進行

○確かな実績と市民が誇れる柏崎体育の歴史を刻んで85年。時代も進み「柏崎体育」も少子・高齢化対策をはじめ指導者、競技力、施設等多くの課題を抱えるようになった。

新時代に対応した市民スポーツの環境・充実を図る必要も出てきた。

○創立85周年「スポーツ座談会」—自主自立に向け

総合組織団体としてのニューエリート体育協会を目指し、「まちづくり」推進のリーダーである皆さんのご意見を拝聴し、更なる市民スポーツの振興策創造と実現を図りたい。

めざす理想郷—「市民スポーツ文化の風吹くまち柏崎」

最初に高橋体育協会長に柏崎市体育協会の現状をお話し願います。

○まことに高橋体育協会長に柏崎市体育協会の現状をお話し願います。各界の皆様をお迎えするには簡素な部屋で恐縮です。体育協会としては、今迄にない企画で、報

道関係者にもご遠慮願つた会です。ザックバランなお話、ご提言をいただきたい。

① 全国の方々から団とは何ですか? 何するのですか?

○何するのですか? 何するのですかとのご質問が多くあ

ればならなかつた。協会内からも提言があり、一般的ではあるが協会にし

た。

② 社会的に信用される団体への脱皮を検討してい

る。85年間任意団体できた体育協会も法人化を目指し検討委員会も立ち上げ模索をはじめた。皆様のご協力ご理解を今後得て実現したい。

③ 国体を控え体育協会は何をなすべきか、競技力向上だけでなく国体を通して地域の活性化も大切。

○体育・スポーツの振興なくして、光り輝くことが出来るのか、市民ス

ポーツは健康福祉、医療につながる。市の第4次総合計画はこの点弱い気がする。

④ 学校との連携について

○まことに高橋体育協会長に柏崎市体育協会の現状をお話し願います。各界の皆様をお迎えするには簡素な部屋で恐縮です。体育協会としては、今迄にない企画で、報

一バーワークを体育協会がどう負担軽減できるか、また放課後の子供達の居場所確保にどう関わるか等課題は多い。

○施設の問題については、使う立場(体協加盟団体・市民活動)と管理の立場のギャップはまだ大きくなる。

○以前地域振興局長さんの提言を受け観光協会も含めて観光とスポーツを検討したが、それらについて実現したい。

⑥ 以前地域振興局長さん

の提言を受け観光協会も含めて観光とスポーツを検討したが、それらについてもお話し頂いたい。

*現状説明でなく問題提起になつたが、日頃のお考えなど聞かせてもらえば幸いです。



近藤進行

○ これからの方は、お一人お一人の立場でお話をいただき、その後は高橋会長提起の問題やこれらの皆さんのお話について、フリートークイングにして、最後に体育協会に対する提言をいただくような形で進めていきたい。

○ まず、斎川局長さんに地域振興についてお話をねがいますが、今年立ち上がった北信越BCの村山社長（柏崎出身）は野球を通して地域貢献をするために立ち上げたと言つております。今日、スボーツは地域振興と深い関わりを持っております。その辺も含んでお話ししていただければ。

④

市民のための公共施設を外からの人に優先的に使わしていいのだろうか？宿泊施設と体育施設のコーディネートが難しい。この辺は観光協会さんとの関係になる。

施設との関係……課題

中越地震など幾つか悪条件が重なり積極さを欠いている現状。

しかし、昨年は埼玉、群馬、春日部、早稲田大学等々、各施設に外からのいろいろなルートで合宿は来ている。

②
スポーツ合宿について
H16年度末に、多くある
スポート合宿について

の印象もある。

近藤進行

だけでなく、合宿者と地域の人たちがふれあいが無いとスポーツの町柏崎と言えないのではないか。

会田柏崎市長

① 最初に体育・スポーツの使い分け

私は「体育」は競技的、学校で言えばヤラナケレバならないもの、ヤルベキもの、「スポーツ」はレクも含め、気楽に楽しめるもの。体育は教育でスポーツは文化の要素があるものと勝手に思っている。柏崎マラソンは記録を、潮風マラソンは楽しむものと思っている。

潮風マラソンは全国マラソン100選に入っている。私が参加したのは、昨年の反省会で来年は出ると言つたので参加した。一度参加するとまた参加しないことはないのかとも思つてゐる。

ツ

「好きです　輝く柏崎」の重点プロジェクトが4つあり、その一つに「健康づくり」を挙げ、医療・福祉と共に体育・スポーツの愛好者を増やし、健康な生活をすることは大切な柱としている。その施策の一つの提案とし

近藤進行

(3) 体育施設について
施設もいろいろある
が、老朽化してきている。
日頃のメンテナンスと司

足等で高橋会員さんはご不満もあることと推測している。体育スピーチを軽視しているわけではない。

A black and white photograph of a man with dark hair and glasses, wearing a suit jacket over a light-colored shirt. He is seated at a table, looking slightly to his left. A clear plastic bottle is on the table in front of him.

点から内藤さんお願ひします。

内藤観光協会長

○観光協会3年目、高橋会長や県からスポーツと観光を研究しようと持ちかけられ現在にいたつてゐる。

① 観光の変化

観光も変わってきていた。昔は温泉観光中心の温泉宿でドンちゃん騒ぎした観光だつたが、今は地域とのふれあい交流する交流観光に変わつてしまつた。

地域が応援する観光をしていきたい。スポーツを利用という言葉は適切でないが、スポーツをキーワードに人を呼び、柏崎らしい観光は大切と考へ、観光協会も柱にして、ふれあい観光で振興していきたい。

② 柏崎の現状

柏崎も高度成長期から大きく変化し、旧柏崎市で150軒の宿泊施設、6000人を収容出来たが、現状の宿泊施設は約半分近くに減り、民宿も高齢化で止められたとこ

ろも多くある。また昔一流と言われた施設が廃業されたりし、収容力も少なくなった。

③ スポーツ合宿

海のシーズンと夏の合宿が重なり、宿舎不足で宿に来てくれと言えない。観光協会で施設を募集したり、受け入れ研究を試みている。

体育施設も市民の利用と合宿利用とバッティングする問題、海岸線に多い宿泊施設と内陸にある体育施設への足の問題等合宿をどうやって更に進められるか頭が痛い。

○観光協会も色々問題を抱えているが、スポーツ振興により大会、合宿等と多くの外からの客を受け入れる方策を考えていきたい。

近藤進行

○合宿と施設に関しては今年も100人の合宿をした。子供が中学生の時のマジック、総合体育館で、と言われたが施設は1年前から予約で取れないといふ話がある。団体からあつた。

一つ審議会の提案の見直しが5年目を迎えた。その中で、子供の体力の低下が大きな柱になっていた。これ等もふまえ、学校と地域の連携、子供の2極化現象という子、子供の遊び場、中学校の部活動の外部指導者等について、教育委員の栗林さんお願ひします。

栗林教育委員

① 体育との関わり

子供の頃は病弱で、欠席が多く、体育も苦手だったが、近所の友だちと三角ベースの野球をしたのは楽しい思い出である。

子供の頃は病弱で、欠席が多く、体育も苦手だったが、近所の友だちと三角ベースの野球をしたのは楽しい思い出である。

子供の頃は病弱で、欠席が多く、体育も苦手だったが、近所の友だちと三角ベースの野球をしたのは楽しい思い出である。

子供の頃は病弱で、欠席が多く、体育も苦手だったが、近所の友だちと三角ベースの野球をしたのは楽しい思い出である。

栗林教育委員

① 体育との関わり

子供の頃は病弱で、欠

席が多く、体育も苦手だ

ったが、近所の友だちと三角ベースの野球をし

たのは楽しい思い出であ

ったが、近所の友だちと三角ベースの野球をし

らいしかなく、今日この場にいるのが不思議に感じている。

② 学校訪問から

☆学校訪問や地域教育懇談会などで聞くのは、温度差はあるものの、柏崎の学力は高いものを持って

いるが体力の方は? と

いう話。中心街の学校だけではなく、郊外の学校でも車社会やゲーム・ネット等の普及のせいか歩く

機会が少なくなっている

問題もある。

☆育成会、コミュニティが社会体育の場、遊び場・居場所の提供をして下さ

っている地域には心強さを感じています。

☆学校も色々な事があって

教師の負担が大きくなつていて。部活も少子化の影響もあり、担当教師不足、子供が望む部が学校

にない、選べない→社会

体育に頼らざるを得ない。この時、学校現場と社会体育指導者の間に意

思の疎通を図るコーディネーターが学校と地域に必要になる。何年か前に

も部活についての会で長

岡方式、上越方式などの話が出て、柏崎方式を考えたらどうか等話が検討された。

③ 子供のために

☆学校の中でも土、日の練習場の確保が学校開放との関係で社会体育の子供達が使えない。練習場がない子供たち優先にしてもらえないかとの要望も聞く。調整の難しさもある。



と思う。子供達には、いい汗かいてそれがスポーツに繋がっていくよう期待しています。

近藤進行

○野外、自然の中での活動は減っている。スポーツの室内化の時代。臨海学校などをしている学校は皆無。地域スポーツの場の話がありましたが、対応策の一つが「総合型地域スポーツクラブ」だと思う。

○子供に夢と感動を持たせ、勝つことだけではない、楽しさ、感謝の気持ちを持たせるなど、子供・指導者を含めた環境作りについて阿部さんから親の立場でお願いします。

阿部市小中P.T.A連絡協議会長

① 真髓は
出来るところまで努力することを自分自身で理解する。出来たらその上まで努力する。自分で自分を褒め、周りと比べ又努力する。これは勉強も運動もこれが真髓だと思う。親が、地域が、学校等誰がみるかは手段で

② スポーツと子供
我が家の子供は、野球で目にボールが当つたり、デッドボールや試合に負けて泣きべそをかくことがあった。家庭の中や、教室で出来ない体験を屋外スポーツでしたことは、成長の必須条件で有難いこと思つていい。この辺の精神、モチベーション、考え方を子供、保護者、学校、地域が理解してやれば手段は現場がやってくれる。精神がなければどんな手段をとっても育たない。どうして上手になりたいか、強くなりたいか子供が考えずにやついていると、上からの押し付けになり上に進学しても継続しない。

③ 体験から
小学校の時水泳のオリンピック選手田口さんが中越スポーツハウスに来られ、直接指導を受け、あなりたいという強い

ある。要は子供に一生懸命やれば成果が出ることを認識、体験させることに意味がある。

近藤進行

○地元開催種目の「なぎなた」の宣伝もしてはどうか。
今日言つて今日応援できるものでない、地元として開催種目のPRをもつとやる。簡単なルールや競技の見方、○○高校が強い、トップアスリートの○○選手がいる等々、広報で発信することが、地元受け入れの体制づくりの助走になる。

近藤進行
柏崎の体育施設は県下に誇っていたが老朽化したり、駐車場、観覧席がないなどの施設もある。他市町村は新しい施設を建設し、大会等も他市町村に行く傾向もある。観光と共に存する方法、また交流を深める少ない施設などのことについて

会田市長

施設や学校も使えない、取り合い、合宿も呼べない等々、一方市民スポーツをもつと広げれば一層窮屈になる。どこに泊まつて、合宿がきていたがいまはどうか?

内藤観光協会会长
風の陣でビーチバレーをしたが、砂の中が危険で素足で出来なかつたが、この柏崎の広い海岸・砂浜を活用してビーチバレー大会やオフロード大会等海岸と砂浜を有効活用し柏崎の特色を出す方法も考えられる。

また、全国的に名をあげ

気持ちはなり、水泳、水球を続けた。一流選手を見ることも大切。また、体験から至れり尽せりの宿も考えるもの、現場のチ

ーム同士の交流合宿で、宿舎は学校でも充分に思う。

高橋体育協会長

市長さんの体育・スポーツについての口答試験がありました。私は現在の体育は「フィジカルエジケーションで学校の中だけのものでなく、中年以上の高齢者にわたつて身体活動を通した教養を考える。子供でも大人でも一つの場所から離れ、心を癒すのがスポーツと単純に考えている。そんな観点から施設のある時間帯だけでも市民の使える時間帯が欲しい。指導者はとくに付かなくとも出来るものもある。



も要としておおいに期待したい。

阿部市P連会長

体育協会は大局的に物事を見て、1個人、1加盟団体で出来ない強力なサポートをし、市、県、行政、観光協会との調整、連携に努める。特に国体前は。

内藤觀光協会会長

ある会で、柏崎の特性は何か、他に自慢できるものは何かの問い合わせに、皆さんがあげたのが、原子力発電所、2つの大学だった。体協としてもっと働きかけをし、選手育成、指導者派遣、大会協力を企業に遠慮しないで依頼する。

東京電力さんなど1、000名の社員、中には、各種目の優秀な選手、指導者がおられる。体協として積極的に働きかけをする。他企業にも力をもつと出してもらう働きかけをする。

会田市長

まず国体が一大イベント、市民で盛り上げる。体協の今後の在り方に

ついては、「地域総合型スポーツクラブ」が課題になるのではないか。体制をどうするのか、それについて施設の維持管理の体制はどうするのか、それ関わりはどうあるべきかが検討課題になる。

近藤進行

「地域総合型スポーツクラブ」については、体育係と体協事務局、総合体育館、地区体協で準備委員会を立ち上げ検討をはじめた。

高橋体育協会会長

県は国体で観光交流事業をもつ計画があるのか、節約国体で市町村の開始式、閉会式は無いとのこと。普通の種目別大会と変わらない、どこで市民との交流、ふれあいを持つか心配。

今後も末永く体育協会を宜しくお願ひします。今日はありがとうございます。

平成十九年度

柏崎市体育協会 加盟団体一覧

柏崎陸上競技協会	会長 渡辺 亘	柏崎ワンバウンドバレーボール協会
柏崎水泳連盟	会長 横関 健一	柏崎市ゲートボール協会 会長 栗林 健三
柏崎テニス協会	会長 東山 英機	柏崎綱引連盟 会長 服部 敏男
柏崎地区ソフトテニス連盟	会長 駒野 哲人	柏崎サーフボード連盟 会長 田中 文雄
柏崎バレーボール協会	会長 黒田 芳明	柏崎ヨット連盟 会長 西川 正純
柏崎卓球連盟	会長 德間 市郎	(財)坂田体育研究所 所長 坂田 郁夫
柏崎ハンドボール協会	会長 大谷 昇	柏崎市地区体育協会連絡協議会 会長 霜田 正仁
柏崎バドミントン協会	会長 庭山 政幸	柏崎刈羽小学校体育連盟 会長 渡辺 仁平
柏崎ラグビー協会	会長 斎藤 義雄	柏崎刈羽太極拳協会 会長 涌井 幸夫
柏崎サッカー協会	会長 大矢 和夫	柏崎・刈羽ゴルフ協会 会長 丸山 啓子
柏崎柔道連盟	会長 仁木 賢	新潟産業大学 学長 廣川 俊男
柏崎剣道連盟	会長 植木 正一	柏崎少年硬式野球連盟 会長 三宮 勇雄
柏崎相撲協会	会長 小林 久幸	柏崎ライフセービングクラブ 会長 霜田 彰
柏崎弓道連盟	会長 渡辺 仁	新潟県ボウリング連盟柏崎支部 会長 上森 一利
柏崎なぎなた協会	会長 角山 二郎	柏崎水上競技連盟 会長 田中 弘
柏崎市少林寺拳法協会	会長 大山 弘	柏崎女子ソフトボール連盟 会長 金子 錦弥
合氣道柏崎道場	会長 佐藤 敬藏	サークルフレンズ拳好会 会長 品田 広身
柏崎米峰スキー連盟	会長 牧野 輝男	柏崎グラウンド・ゴルフ協会 会長 中村日出美
柏崎山岳会	会長 布施 俊雄	柏崎女子ソフトボール連盟 会長 霜田 捷



事に向う人もいます。家族の協力と、監督の熱い指導、練習のサポートや試合のスコアー付けをしてくれるコーチ陣、そしてみんなのソフトボールへの思いが、このチームを支えています。

柏崎には、小中高とソフトボールチームがないため、ソフトボール人口も少なく、底辺もありません。私達の役割は、ソフトボールの普及や、楽しさを伝える事で、日本体育協会の指導者講習も受け資格を取得しました。

マリンズの目標は「年に一度は北信越や全国に出場」し、「勝を目指し、チーム一丸となつて頑張っています。

これまでの長い歴史の中で柏崎地域からは、多くの素晴らしい水泳選手や指導者が誕生しています。それは、柏崎が選手や指導者としての人才培养ばかりでなくさまざまな水泳環境に恵まれた地域であつたことを物語っています。

しかし、現在の水泳をめぐる環境は決して良好とはいえない。それは、明日の水泳を担うべき子供たちが減り続けていてることに他なりません。現に、市内小・中学校における水泳部活動は、少子化の影響を最も強く受けて、ほぼ壊滅状態といわざるを得ません。

このような中、平成十九年度は、競泳では全国中学校水泳大会で和田康宏、村山訓亮(スボーツアカデミー柏崎)が入賞、一方水球では柏崎アカデミー

国体について

新潟国体を通じて 目指すもの

柏崎水泳連盟

山田 茂

校一年生の三井田誠(柏崎工)がカデット(16歳以下)日本代表に選考されるなど嬉しいニュースが続きました。平成二十一年に開催される新潟国体で、我々が目指しているものは、もちろん競泳・水球とともに、市内の選手が一人でも多く出場し、大いに活躍することあります。が、一過性の活躍で終わることなく、これから長い間柏崎の水泳選手が全国で活躍できるようになるための新たな始まりにしたいと構想しています。

そのためには、早い段階で優秀な選手を発掘していくとともに、育てる一貫した指導体制を堅持し、選手や指導者が活動しやすい環境づくりを講じなければならぬと考えています。

中越沖地震による災害は建物や日常生活に必要な物資の被害だけではない。選手・指導者や練習を支えてくれる保護者や関係者にとっても地震被害という厳しさと正面から向きあつたとき、平常な精神状態を回復するのに時間を必要とし

我が連盟の取り組み

柏崎卓球連盟会長

斎藤 義雄

1チーム7名(ゴールキーパー1名)で、ボールを作られたコート内で、ゴールにボールを入れる点数を競う競技

組み

(二) 柏崎卓球連盟の取り組み

嘗て、卓球競技は職域が盛んで対外実績も優秀でしたが、現在は中学・高校の部活が中心である。だが部活には学校独自の制限があり、小学生ジュニアの育成では指導者確保の困難性もあつて長期継続的育成計画と普及の両面から、当連盟は七年前に「卓球スク

たしても中越沖地震にのみわれてしましましたが、我々の気持ちまでが萎えてしまったわけではありません。昨夏は、地震で練習環境にも事欠いたにもかかわらず、柏崎の選手達は、すばらしい活躍をしてくれました。

これからも期待に違わない活躍を提供できるよう水泳関係者が一丸となつて頑張つてまいりますので、是非、皆様の温かい声援をお願いいたします。

(二) 卓球競技の簡単なルールと見方
1ゲームズ11点先取でサードは2本交代。大会では5ゲームズで競技を行い、3ゲームズ先取者を勝者とする(国体・全日本選手権等の上級大会は7ゲームズ)。

卓球競技はボールの回転力とスピードの競技であり、そのために筋力・俊敏・瞬発力・動体視力の高さ等について高水準の訓練が行われている。(現在、用具の開発は飽くことなく進められているため、尚更のことである)

組み

(二) 柏崎卓球連盟の取り組み

嘗て、卓球競技は職域が盛んで対外実績も優秀でしたが、現在は中学・高校の部活が中心である。だが部活には学校独自の制限がある、小学生ジュニアの育成では指導者確保の困難性もあつて長期継続的育成計画と普及の両面から、当連